

平成 30 年 8 月 2 日
日本船主協会 海務部

次世代を担う学生に商船学科を紹介 ～2018 年度国立高等専門学校（商船学科）5 校合同進学ガイダンス～

日本船主協会では、平成 20 年 7 月より人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。その一環として、海技者というキャリアパスを若い世代に広く意識してもらうべく、国立高等専門学校（商船学科）5 校合同進学ガイダンスを、神戸（6 月 30 日・三宮研修センター）、横浜（7 月 28 日・ナビオス横浜）の 2 会場において、開催しました。

本取組は、商船学科のある国立高等専門学校（以下商船系高専）5 校（富山高専、鳥羽商船、大島商船、広島商船、弓削商船）と連携して実施しており、今回で 11 回目を迎えました。

各会場では、当協会より、日常生活で海運が支える割合や日本人船員の重要性および代表的な船舶の紹介を行ったほか、同時期に開催された「海の日」関連の見学会においても、海運の重要性をアピールしていることに触れました。また、横浜会場においては、当協会磯田裕治副会長が挨拶を行い、参加者が将来の選択肢のひとつとして海技者を志すことに大きな期待を寄せました。

商船系高専の先生方からは、学習カリキュラムや学生生活の様子、卒業後の進路など、具体的な指針となる説明が行われました。

卒業後の進路紹介として、商船系高専卒業生が多く活躍する長距離フェリー業界を代表し、日本カーフェリー労務協会の長田栄弘 常務理事事務局長から業界に関する説明をいただいたほか、当協会会員会社の若手航海士・機関士が、商船系高専へ進学した動機や、学生生活、就職後の仕事の内容や休暇の過ごし方等を写真と共に紹介しました。講演後には、各校ごとにブースを設け、各校の先生、学生、卒業生と参加者が熱心に情報交換を行う光景が見られました。

人材確保タスクフォースでは、今後も商船系高専をはじめとした海事系教育機関や海運業界の認知度向上および海事人材の確保の一助となるよう、関連機関と協力して幅広い活動を継続して行くこととしています。

各会場参加者（計 177 名）内訳

神戸会場：111 名（中学生 43 名 保護者 57 名 その他 11 名）

横浜会場：66 名（中学生 25 名 保護者 35 名 その他 6 名）

現役航海士・機関士（高専卒業生）の皆様（順不同）

神戸会場：

川崎汽船(株) 浪切聡史 二等機関士

(株)商船三井 岡本 涼 一等航海士

横浜会場：

川崎汽船(株) 鬼頭和江 二等航海士

日本郵船(株) 橋本海翔 三等機関士

商船系高専 全体説明を担当していただいた先生方

神戸会場：国立弓削商船高等専門学校 村上 知弘 教授

横浜会場：国立富山高専高等専門学校 山本桂一郎 教授

神戸会場 (6月30日)



会場全体の様子



浪切聡史 二等機関士 ご講演の様子



岡本涼 一等航海士 ご講演の様子



各校ブースの様子

横浜会場 (7月28日)



磯田裕治 日本船主協会 副会長 挨拶の様子



鬼頭和江 二等航海士 ご講演の様子



橋本海翔 三等機関士 ご講演の様子



各校ブースの様子